

お知らせ

- . hpcシステムのtcshの変更について
- . 平成17年度利用者旅費について
- . Q&A SYSTEMの運用開始について
- . ジョブ種別の制限値の変更について
- . スーパーコンピュータのジョブの再実行について
- . アーカイブサーバの貸出し利用について

- . hpcシステムのtcshの変更について

hpcシステムでは、tcshとして/bin/tcshが実行されていましたが、/usr/local/bin/tcsh (tcsh-6.14) を実行するように変更しました。.login, .login.local, .cshrc, .cshrc.localのファイル内で/bin/tcshを直接指定されている場合は、/usr/local/bin/tcshを指定するように変更してください。

- . 平成17年度利用者旅費について

平成17年度の利用者旅費による出張は、下記のように取り扱います。

1) 期 間 平成17年4月1日 ~ 平成18年3月31日

2) 出張計画表

利用者旅費による出張の申請は、センター委員会の審議を経て承認するため、年度当初に出張理由・回数等を記入した年間計画（出張計画表）を提出する。

年度の途中で、出張の必要が生じた場合には、それ以降の計画を記して提出する。

3) 出張申請書

出張計画表の提出により承認された場合は、旅行日の2週間前までに、本センターに利用者旅費申請書を提出する。

（出張計画表、利用者旅費申請書はセンターホームページよりPDFにて印刷が可能です）

4) 出張期間

センター滞在を3日以内とし、必要な旅行日を加える。ただし、第4地区内の方は日帰りとする（原則として一人当たり5回/月以内）。

5) 支給額

（1）運 賃 普通車運賃。ただし、当該旅行キロ数に応じて所定の急行または特別急行料金を支給する。

（2）日当及び宿泊料 国立大学法人名古屋大学旅費規程・細則で規定する額を支給する。

6) その他

(1) 旅費の支給方法はすべて精算払いとする。

(2) 科学研究費、受託研究費及び委任経理金による利用者に対しては、旅費を支給しない。

(以上「速報」 38-17.5.25発行)

・ Q&A SYSTEMの運用開始について

従来のメール相談にかわる相談システムとしてQ&A SYSTEMの運用を開始しました。本システムは、ユーザからの質問をWebで受け付け、回答をメールで送付します。Q&A SYSTEMのURLは以下のとおりです。

<https://qa.itc.nagoya-u.ac.jp/>

これに伴い、センターホームページに対しても、上記「質問者向けトップページ(質問入力画面)」への直接リンクを張るなど若干の変更を加えました。

なお、面談相談は従来どおり行います。Q&A SYSTEMや面談相談を含むセンターのIT相談室の詳細については、以下のページをご覧ください。

<http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/service/it.html>

従来のメール相談では、質問は専門分野ごとに決まったメールアドレスに送付されていました。Q&A SYSTEMでは、質問の受付を従来のようなメールではなくWeb経由にしたため、質問メールアドレス向けのスパムメールの問題がなくなります。また、質問は、分野ごとの回答者に自動転送され、質問と回答はすべてデータベースに格納されます。そのため、回答者による質問や回答の検索、再利用などが容易になります。これらのことにより、従来に比べると、質問の確実な受領、質問及び回答の状態把握、回答作成の効率化が可能となり、ユーザへのサービスが向上すると考えております。是非、Q&A SYSTEMをご活用ください。

なお、本システムに関するご質問、ご意見等は、qadb@itc.nagoya-u.ac.jp宛にお寄せください。

・ ジョブ種別の制限値の変更について

7月4日(月)より、hpcシステムのp8及びp16のキューの経過時間の制限値を200時間に変更します。なお、使用可能CPU数については、今までの表では分かりにくかったので、プロセスとスレッドに分けてそれぞれの使用可能CPU数を表示しています。

ジョブ種別

バッチジョブ	キュー名	最大使用可能CPU数		CPU使用時間		ラージメモリ		経過時間	ユーザDTU
		プロセス	スレッド	標準値	制限値	標準値	制限値	制限値	
	a8	8	8	10時間	10時間	2 GB	400GB	2 時間	利用不可
	p8	8	8	10時間	無制限	2 GB	400GB	200時間	利用不可
	p16	16	16	10時間	無制限	2 GB	400GB	200時間	利用可能
	p64	64	64	200時間	無制限	2 GB	400GB	200時間	利用可能
	p128	128	128	200時間	無制限	2 GB	400GB	336時間	利用可能
	p256	256	64	200時間	無制限	2 GB	400GB	336時間	利用可能
	p1024	512	64	200時間	無制限	2 GB	400GB	336時間	利用可能
	TSS	128	128	2 時間	無制限		128GB		利用不可

注1) CPU使用時間は、各CPUの合計です。

注2) ラージメモリは、プロセスあたりの値です。

注3) 現在のところ、バッチジョブで使用可能な最大のCPU数は、1584です。

注4) バッチジョブで使用できる128CPUのノードは、1台です。

・スーパーコンピュータのジョブの再実行について

現在、hpcシステムでは、第1月曜日に計算機システムの定期保守を行っています。定期保守を行う時点で、実行中のバッチジョブは実行が中止され、定期保守終了後に、自動的に再実行（最初から）されます。また、システムクラッシュなどシステムが異常をきたした場合にも同じように、実行中のジョブは、再実行されます。再実行することにより無駄な計算を行うことになるジョブ（途中結果をファイルに出力し、そこから実行可能なプログラム）や、再実行により結果が異常となるジョブの場合には、qsubコマンドの-nrオプションを指定することにより再実行を阻止することができます。このような場合には、-nrオプションを指定してqsubしてください。

（以上「速報」 39-17.6.22発行）

・アーカイブサーバの貸出し利用について

アーカイブサーバ（NR1000 F520 総容量10TB）は、大容量ファイル向けのネットワーク接続型ディスク装置です。スーパーコンピュータでの計算結果がディスクに大量にある場合、そのファイル課金への負担を大幅に軽減することを目的に、DVDサーバの後継システムとして導入されました。利用方法は、通常のUNIXファイルシステムと同じです。利用申請すれば、hpc又はnucvにログインしたときに、アーカイブサーバのディレクトリも使用できるようになります。アーカイブサーバはユニット容量952GBの構成が基本ですが、最大1.7TBまで拡張することも可能です。1ファイルで基本構成容量を超える場合は事前にご相談ください。アーカイブサーバの利用申請は、センター4階事務受付（共同利用掛：052-789-4355）で行います。（申請書はセンターホームページで）利用の概要はつぎのとおりです。

尚、これによりDVDサーバの貸出しサービスは終了します。

貸出しボリューム利用負担金

貸出しは1ボリューム単位とする。1ボリューム＝ディスク50GBで換算し、1ボリュームにつき月額200円とする。

アーカイブサーバの利用負担金額は、アーカイブサーバ利用申請時及び月初めに請求を行う。

アーカイブサーバ貸出しボリュームシステムの利用方法

アーカイブサーバ利用申請により、アーカイブサーバのディレクトリ配下に、以下のようなディレクトリが作成される。

（例）登録番号（login名）：a49999a マウントポイント：/ar/01/a49999a

hpc又はnucvシステムにログインし、UNIXファイルシステムと同様のアクセスが可能。

（以上「速報」 40-17.7.22発行）